

VOISTAGE マルチメディアボックス／カード基本ソフトウェア

リリースノート

Ver8.0.2.0

NTTデータ先端技術(株) 2009/1/8

1. 変更内容一覧

Ver8.0.2.0 2010.01.08

- ・ VS-411MB で有音検出機能を追加しました。
- ・ 下記の不具合を修正しました。
 - ・ 複数回線を同時に起動すると、スクリプトエンジン VENGINE.EXE が起動と終了を繰り返す。
 - ・ スクリプトで RINGACCEPT コマンド実行時、回線が接続できない場合に "DEBUG RingAccept" の MessageBox が表示されてしまう。(MessageBox の表示を無くし、RINGACCEPT コマンドのリターン値が -2 となるように修正)
 - ・ VS-411MB アナログ転送にて、転送先へダイヤル中に発信者が切断した場合、次の着信ができなくなる。
 - ・ VS-411MB アナログ転送にて、転送先と通信中に TransferCancel()メソッドが失敗する。

Ver8.0.1.0 2009.11.21

- ・ VS-411MB でトリオフオンの機能を追加しました。

Ver8.0.0.0 2009.10.28

- ・ UnPBX 機能とひかり電話対応機能を削除しました。
- ・ 下記の新規対応/機能追加を致しました。
 - ・ VOISTAGE マルチメディアボックス VS-2301MB (INS ネット 1500 回線版) に対応
 - ・ Windows Server 2008 Standard/Enterprise Edition(32-bit x86) / Windows Vista Business(32-bit x86) に対応
 - ・ INS 回線の接続方式にストレートモードを追加
上記機能により、NTT 網から受信したチャンネルに対応したアプリケーションへ通知するか(ストレート)、若い番号のアプリケーションから順番に通知するか(順次)、選択できるようになります。デフォルトの設定では、若い番号のアプリケーションから通知します。
 - ・ FAX-ID(TSI)に含まれる先頭の空白の取り扱い方法を選択できる機能を追加
上記機能により、GetFaxTc()メソッドで取得する時の TSI が、先頭の空白を削除して左詰めにした TSI か、受信した TSI か選択できるようになります。初期値は、先頭の空白を削除して左詰めにした TSI が取得できます。
 - ・ VOISTAGE スクリプトに着信拒否機能を追加
 - ・ ダイヤルイン番号の登録数を4個から1000個へ拡大

2. 注意事項

本ソフトウェアに含まれている VOISTAGE オンラインヘルプは、マルチメディアカード基本ソフトウェア Ver7 に含まれている内容と同一です。

最新の VOISTAGE オンラインヘルプにつきましては、下記の URL にアクセスしてください。

http://www2.voistage.com/vs_help/ (現在作業中、近日公開予定)